

ササキデンタルアカデミー

# SASAKI DENTAL ACADEMY Vol.7



## Discovery 真実の臨床への旅

歯科臨床の各分野における巨匠8名によるセミナー

### ササキデンタルアカデミー セミナースケジュール

回数	開催日	講師	演題
第1回 開校式	2023年 4月 9日(日)	寺西 邦彦 先生 行田 克則 先生 竹下 賢仁 先生	これからの歯科医師に求められるもの、診査・診断・治療計画立案
第2回	2023年 5月14日(日)	石井 宏 先生	臨床歯内療法の実践 -患者利益のためにしなければならないこと-
第3回	2023年 6月11日(日)	児玉 利朗 先生	歯周病・インプラントにおけるティッシュマネージメント
第4回	2023年 7月23日(日)	青島 徹児 先生	ダイレクトボンディングのボーダーとオールセラミックス修復 -クラウンにする前にやるべき事-
第5回	2023年 8月20日(日)	行田 克則 先生	5年以上経過した症例で語ろう 新しい歯周治療法で行う補綴治療
第6回	2023年 9月10日(日)	寺西 邦彦 先生	リムーバブル・デンチャー
第7回	2023年10月15日(日)	川崎 宏一郎 先生	一般臨床医が取り組む部分矯正
第8回	2023年11月 5日(日)	竹下 賢仁 先生	原理原則を考慮したインプラント治療
第9回	2023年12月10日(日)	小池 軍平 先生	歯科用光学型印象型CAD/CAMの到達点
第10回 修了式	2024年 1月28日(日)	講師全員	受講生の症例発表 及び 講師陣の失敗症例を含めた長期症例のケースプレゼンテーション



現在、歯科医療を取り巻く環境は決して良好とはいえないのが現状でしょう。また、多くの患者さんが的確に治療を行える(治せる)ドクターを求めているのも事実です。歯科臨床は多様で、臨床経験の少ない歯科医においては、的確に治せるドクターを目指すのは容易なことではありません。そこで本研修においては、歯科臨床各分野における巨匠といわれる先生方に、歯科臨床の多様性そして「匠の臨床」について解説いただき、若い先生方の見識を広めてもらいたいと考えております。

## セミナー内容のご紹介

第1回

2023年4月9日(日)

開校式

### これからの歯科医師に求められるもの、 診査・診断・治療計画立案



校長  
寺西 邦彦 先生



教頭  
行田 克則 先生



実行  
委員長  
竹下 賢仁 先生

種々の問題を抱えた患者さんが来院された場合、歯科医師はそれらの問題を解決し、長期にわたってそれが維持されるように治療そしてメンテナンスを行っていかねばなりません。そのためには、主訴を含めた多くの問題の原因を究明し、治療する必要があるわけで、総合的な診査、診断そして治療計画の立案は不可欠なものです。本コースにおいては、予防、治療、メンテナンスといった歯科臨床のフィロソフィーと診査、診断、治療計画の実践に関して研修を行っていきたいと思います。

第2回

2023年 5月14日(日)

### 臨床歯内療法の実践

—患者利益のためにしなければならないこと—



石井 宏 先生

我々臨床家のゴールは、術者の自己満足のためではなく、患者のためのものになるために設定されなければならない。「根管治療」の相談をよく受けるが、種々の誤解が混乱を招いているようである。このセミナーではこれらの情報を整理する。

第3回

2023年 6月11日(日)

### 歯周病・インプラントにおける ティッシュマネージメント



児玉 利朗 先生

歯周病やインプラント治療では、歯周組織の基礎的背景を理解したうえで、ティッシュマネージメントを実施することが重要である。そこで本講演では、症例を提示しながらテクニックとその理論背景について解説する。

第4回

2023年 7月23日(日)

### ダイレクトボンディングのボーダーと オールセラミックス修復

—クラウンにする前にやるべき事—



青島 徹児 先生

ダイレクトボンディングは、最新の材料や器材を使ったからといって患者に満足と感動を与えられるとは限らない。術後の結果は術者の技量に100%左右されるが、自身の技量の向上がボーダーの拡大にもつながる。しかし昨今の紙面において、補綴的視点からするダイレクトのボーダーを超えたケースを拝見することが多い。そこで今回「ダイレクトボンディングのボーダーとオールセラミックス修復」と題し、補綴的視点から見たダイレクトのボーダーを明確にし、その後のオールセラミックス修復へのアプローチをどのように考えるべきかお話ししたいと思います。

第5回

2023年 8月20日(日)

### 5年以上経過した症例で語ろう 新しい歯周治療法で行う補綴治療



行田 克則 先生

歯肉を健康な状態に保つためには上皮性付着の働きは無視できない、にもかかわらずその臨床的意義はほとんど知られていない、本講演では上皮性付着を正しく扱うことで達成できるセルフクリーニングの補綴治療について解説する。



期間	(全10回) 2023年 4月9日(日)～2024年 1月28日(日)
開催地	東京支店セミナールーム【予定】
セミナー日時	各回コース 10:00～16:00
定員	20名 定員になり次第、締め切らせていただきます。
参加費	35万円 (消費税込) ※お一人様、10回コース
参加対象	基本はすべてのコースに、ご参加が可能な(開業医・勤務医)とさせていただきます。



## 第6回 2023年 9月10日(日)

### リムーバブル・デンチャー



寺西 邦彦 先生

欠損補綴イコール、インプラントといった考えが一般的になってきた感は否めないが、リムーバブル・デンチャーすなわち、総義歯、部分床義歯、オーバーデンチャー、そしてインプラント・オーバーデンチャーにはそれらの長所も多クまた、先人たちが確立してきたそれらの理論はインプラント補綴においても不可欠な理論といえるだろう。本コースにおいては、欠損補綴全般に対する考え方、良好に機能するパーシャルデンチャーそして総義歯調整法について解説を加えていきたい。

## 第7回 2023年 10月15日(日)

### 一般臨床医が取り組む部分矯正



川崎 宏一郎 先生

部分矯正で病的に移動した歯牙を本来の位置に移動できれば、後処置の予知性は格段に向上する。本セミナーでは部分矯正をこれからの臨床に取り入れるためのセオリーを一般臨床医の視点で解説する。

## 第8回 2023年 11月5日(日)

### 原理原則を考慮したインプラント治療



竹下 賢二 先生

硬組織を診る、軟組織を診る、クラウンダウントリートメントの概念を考慮した埋入ポジションを考える、インプラント補綴装置が永続的に機能するためにどのような工夫が必要であるかを考える。本講演ではそれぞれの原理原則を考慮したインプラント治療について解説する。

## 第9回 2023年 12月10日(日)

### 歯科用光学型印象型 CAD/CAMの到達点



小池 軍平 先生

歯科用CAD/CAMの歯科への導入はここ10年を境に、保存補綴分野ばかりでなく、複合的に用いられるようになった。一部保険適応になり、一般保険医にも身近な存在になった。今回わたしは最新のCAD/CAMの種類を大別し、光学式CAD/CAMの到達点と、その修復物を最新材料とともに、臨床症例で供覧したい。

## 第10回 2024年 1月28日(日) 修了式

講師全員

受講生の症例発表 及び  
講師陣の失敗症例を含めた長期症例のケースプレゼンテーション

●第1回、第10回は講義終了後それぞれ開校式、修了式がございます。

新型コロナウイルス感染拡大により、各回をWEBセミナーに変更する可能性もございます。